

学習課題（小学校3年生）



【国語】けいかくを立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆「国語辞典こくごじてんを使おう」（教科書きょうかしょ32～33 ページ）は、学校が始まったらみんなみなで学習がくしゅうをします。どんな学習をするのか読んでおきましょう。

◆「春のくらし」（教科書 36 ページ）を学習します。

① 「みどり」という詩しを音読おんどくしましょう。1 回目はていねいに、2 回目はすらすらと、3 回目は一つ一つの言葉ことばをはっきりと、4 回目はどんな様子ようすか考えながら、5 回目はもう一度ていねいに読んでみましょう。

② 読んで感じたことかん、考えたことを取組シートやノートに書きましょう。
※どんな様子を思いうかべたか書いてもよいですね。

③ 「春になると、これを食べるなあ。」と思うものをノートに書いて家の人に伝えましょう。家の人とそうだしながら考えるのもいいですね。
※「春らしい食べ物」を、教科書を読んでたしかめましょう。

④ 「春らしいなあ。」「春になったなあ。」と感かんじじくくをさがして、短みじかい文章ぶんしょうで書きましょう。36 ページの下したの文章のように書いてみるといいですよ。いくつ見つかるでしょうか。

◆漢字かんじ（教科書 34 ページ）をノートに練習れんしゅうします。

※152 ページで書き順をかくにんしましょう。

※33～34 ページの下したのだんに出てくる言葉を練習したり出てきた漢字を使って、文を書いたりして漢字をおぼえましょう。


＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・P32 の右下の QR コードを読み込むと、国語辞典の使い方の動画が視聴できます。閲覧が可能でしたら、お子さんに見せてあげてください。
- ・「春のくらし」の学習①では、音読を聞いてあげてください。④の「春らしさ探し」では、春になるとお店で売られるものを教えたり、お家の人を感じた春らしさを伝えてあげたりするなど、お子さんと春について会話をしていただけたいと思います。
- ・ノート等を見て感想を伝えたり、漢字の学習の取組について「練習した字の中では、この文字のバランスがとてもきれい。」など、具体的にほめてあげたりしてください。

【社会】

＜勉強すること＞

◆「くわしい地図を見つてみると」（教科書10 ページ）の図先生の地図を見つて分かることを、取組シートやノートに書こう。

(1) 地図にある方位記号（) を見て、教科書の上下左右が、それぞれどの方位（東、西、南、北）なのかをたしかめ、書きましょう。

※方位記号について知りたい時は、地図帳10 ページを見つてみよう。

(2) 地図記号をもとに、たて物や土地の様子について、分かることを3つ以上書きましょう。

※～が多い。～が～の近くに集まっている。～は○の方位にある。など

◆「地図のやくそく(2)」（地図帳12 ページ）を見つて、取組シートやノートにまとめよう。

(1) つぎの場所の地図記号を調べて、書つてみよう。

①小学校・中学校 ②警察署 ③消防署 ④病院 ⑤郵便局

※その他の地図記号も書けたらすごいですね。

(2) トライ！（地図帳 12 ページ）に取組もう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「くわしい地図を見つてみると」

・お子さんが地図から見つけたことについて、どんなことでも大いに認めてあげてくたさい。また、お時間があれば、「神社はおおほり大濠公園から見てどの方位にあるのかな。」などと問いかけることで、地図を見つて方位や特徴を捉えようとするようになり、子どもの地図の見方が広がります。

◆「地図のやくそく(2)」

・可能であれば、親子で地図記号をクイズにして答え合うと、子どもは楽しみながら地図記号を覚えることができます。また、地図帳 P12 を見て地図記号の成り立ちを確認するのも効果的です。

※地図帳のP9・11に、QRコードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用くたさい。

【算数】

「※」は学習するときのアドバイスです。

＜勉強すること＞

◆かけ算のきまり～分配のきまり～（教科書15～16ページ）

7×6の答えのもとめ方を考えよう…パート2

「7×6」の答えが、先週の課題とはちがうきまりを使って、もとめられるよ！

(1) みなとさんの方法を見て、かけられる数の「7」を分ける考え方を確認しよう。

(2) (1)を参考にして、かける数の「6」を分ける方法について式を考えよう。

※「かけられる数」や「かける数」を分けて考

える方法は、1年生のときのたし算やひき算の学習ともにているね。

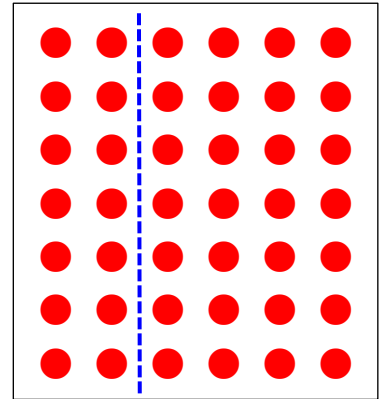
※式は、一つだけかな。

(3) ほかの九九でも「分配のきまり」が使えるかどうか、たしかめよう。

※例えば…「8×5」や「6×4」でもできるかな。

(4) 「分配のきまり」を使うと、もっと大きな数のかけ算ができるよ！

はるさんやゆきさん、みなとさんの考え方をを使って、「13×4」の答えを出そう。自分の一番好きな考え方が見つかったら、ノートにメモしておこう。



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆かけ算のきまり（教科書 P15～16）

- ・この学習は、高学年でも使う大変重要な考え方です。みなとさんの考え方を式や図と結び付けて学習します。学校再開前に予習することで理解しやすくなります。
- ・子どもが、初めて九九の範囲を越えるかけ算にふれます。困っているときは、教科書 P16 の●の図を使うように促し、3年生では、「かけ算の意味をより考えられる」ようにしていくことが大切になります。

【理科】

＜勉強すること＞

◆「風やゴムで動かそう」（教科書 55 ページ）を見て、わゴムをのばしたり、はなしたりしてみましょう。

- ・わゴムをのばしたときの手ごたえは、どのように感じたかな。また、のばしたわゴムをはなすと、どのようになるかな。取組シートやノートに書いてみましょう。

※わゴムを長くのばすと手ごたえは、どのようになるかな。

◆教科書 56 ページの問題（ゴムののばし方によって、物の動き方はどのようにかわるのだろうか。）について、よそうして、じっけんしたけっかを書きましょう。

【家でできる じっけん】

- ・ペットボトルのキャップなどの軽い物をゴムに引っかけて、すべらせて動かします。
- ・わゴムを長くのばしたり、短くのばしたりして動き方をくらべましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、輪ゴムを伸ばす長さによる動き方の違いに気付くことを大切にしています。
- ・「輪ゴムを伸ばしたときの手応えはどうか」「輪ゴムの伸ばす長さで動き方に違いはあるかな」など、輪ゴムで物が動く楽しさに気付くよう声をかけてあげてください。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。

